

実務経歴書

〔記入注意〕 この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、一級建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇年 〇〇月 〇〇日

国土交通大臣 殿 氏名 空衛 太郎
 中央指定登録機関 (自署)
 公益社団法人日本建築士会連合会

勤務先等				
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計		
		年月～年月	年月数	
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R2年 4月 ～ R4年 5月	2年 2月	
在職期間(新しい順に記入)		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)	
年月～年月	年月数			
R2年 4月～ R4年 3月	2年 0月	助教	建築物に係る研究開発に関する実務	
年 月～ 年 月	年 月			
年 月～ 年 月	年 月			
建築実務の詳細(申請する実務を新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計	
			2年 0月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	建築実務の割合 年月数
	建築物の空調・換気設備に関する研究	—	R3年 4月～R4年 3月	50 % 0年 6月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔12C-01〕建築物の空調・換気設備に関する研究について、△△施設における外気・室負荷処理分担を考慮した空調の省エネルギー化に関する研究を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。 掲載誌:空気調和・衛生工学会論文集〇年〇号〇ページ掲載 表題:〇〇に対する〇〇について 著者名:〇〇〇〇、〇〇〇〇				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	建築実務の割合 年月数
	建築物の給排水衛生設備に関する研究	—	R3年 4月～R4年 3月	50 % 0年 6月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔12C-01〕建築物の給排水衛生設備に関する研究について、建築設備用水配管システムの腐食対策に関する研究を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。 掲載誌:空気調和・衛生工学会論文集〇年〇号〇ページ掲載 表題:〇〇に対する〇〇について 著者名:〇〇〇〇、〇〇〇〇				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	建築実務の割合 年月数
	建築物の空調・換気設備に関する研究	—	R2年 4月～R3年 3月	100 % 1年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔12C-01〕建築物の空調・換気設備に関する研究について、大面積の窓を有する空間における冬期暖房時の熱環境予測手法に関する研究を行い、その結果を基に第一著者として論文を執筆した。 掲載誌:空気調和・衛生工学会論文集〇年〇号〇ページ掲載 表題:〇〇に対する〇〇について 著者名:〇〇〇〇、〇〇〇〇				

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
※登録機関記載欄					

実務経歴証明書

令和〇年 〇月 〇日

国土交通大臣
中央指定登録機関 殿
公益社団法人日本建築士会連合会

〇〇大学大学院〇〇研究科長

証明者 **登録 士 郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 〇〇大学大学院〇〇研究科 免許 一郎

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 申請者が所属する
研究科の研究科長

下記の者が申請した一級建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **空衛 太郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・建築物の空調・換気設備に関する研究について、△△施設における外気・室負荷処理分担を考慮した空調の省エネルギー化に関する研究を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。
- ・建築物の給排水衛生設備に関する研究について、建築設備用水配管システムの腐食対策に関する研究を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。
- ・建築物の空調・換気設備に関する研究について、大面積の窓を有する空間における冬期暖房時の熱環境予測手法に関する研究を行い、その結果を基に第一著者として論文を執筆した。

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。

建築物に係る研究期間証明書

[記入注意] この研究期間証明書は証明を受ける研究の成果物毎に作成し、研究成果としての査読論文およびその研究に費やした期間を申告し、指導教員等、第三者の証明を受けてください。

私は、一級建築士の免許を受けたいので、研究に基づく建築実務の成果としての査読付き学術論文誌および研究に従事した期間を下記の通り記載します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇年 〇月 〇日 氏名 空衛 太郎
(自 署)

研究を実施した大学・研究機関等

大学・機関名 (専攻・部署まで)	大学・研究機関名： 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 所在地（番地まで）： 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
---------------------	--

研究成果および研究に要した期間

査読論文誌名称	論文名	投稿年・月	掲載年・月 (掲載決定の場合)
空気調和・衛生工学会論文 集	〇〇に対する〇〇について	令和〇年 〇月	令和〇年 〇月
	著者名(全員、申請者名に下線を引くこと)		
	<u>〇〇 〇〇</u> 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇		
	研究に従事した期間		
	令和〇年 〇月 ~ 令和〇年 〇月 (〇年 〇ヶ月)		

掲載論文に関する研究期間について確認しました。

令和〇年 〇月 〇日

〇〇大学大学院〇〇研究科 教授

(印)

(2)	査読論文誌名称	論文名	掲載号、ページ	掲載年・月 ¹⁾	
	空気調和・衛生工学会論文集	○○に対する○○について	Vol. ○○ No. ○○ PP. ○○	令和○年 ○月	
		著者名(全員、申請者名に下線を引くこと)			
		○○_○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○			
研究内容(別紙①、②より選択、具体的な内容記述) ①：建築物の設計に関する研究 建築設備用水配管システムの腐食対策に関する研究					
(3)	査読論文誌名称	論文名	掲載号、ページ	掲載年・月	
	空気調和・衛生工学会論文集	○○に対する○○について	Vol. ○○ No. ○○ PP. ○○	令和○年 ○月	
		著者名(全員、申請者名に下線を引くこと)			
		○○_○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○			
研究内容(別紙①、②より選択、具体的な内容記述) ①：建築物の設計に関する研究 大面積の窓を有する空間における冬期暖房時の熱環境予測手法に関する研究					
掲載論文に関する記述および研究内容、著者（実務経験期間を除く）について確認しました。 当該論文は、建築士資格に係る実務経験の対象実務であることを認めます。 <div style="text-align: right;"> 令和○年 ○月 ○日 公益社団法人 空気調和・衛生工学会 _____ (印) </div>					

(別紙)

1. 研究成果として認められる査読論文

空気調和・衛生工学会論文集に掲載された学術論文および技術論文

2. 実務経験として認められる研究内容

実務経験として認められる研究内容は、「建築物に係る研究（ただし査読を経て学会誌に掲載等されるなど、第三者による一定の審査を経て公表等されるものに限る）」とされています。

また、実務経験の対象実務の考え方は「設計・工事監理の業務及び設計図書・施工図等の図書と密接に関わりをもちつつ、建築物全体を取りまとめる、建築関係法規の整合を確認する又は建築物を調査・評価するような業務」と見直されています。(平成30年12月5日 建築士資格に係る実務経験のあり方検討会 実務経験に関する見直し方針)

従いまして、「建築物に係る研究に基づく実務経歴説明書」については、空気調和・衛生工学会および指定登録機関にて審査・確認を行い上記を満たしている研究内容に対して発行します。

実務経歴説明書に研究内容を記載するにあたっては、下記のカテゴリーより選択し、さらに具体的な研究内容を記述ください。

- ① 建築物の設計に関する研究
 - ・建築物の特定の部分・機能に係る研究(設備機器単体の研究等を除く。)
- ② 建築物に関する調査又は評価に関する研究
- ③ 建築工事の施工技術に関する研究
- ④ その他

以 上